

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
土居裕美子 (ydoi@tcn.ac.jp)			
授業形態	授業時間数	授業時間外学習時間数	科目区分
演習	30時間	15時間	基礎分野【つながる基礎】
添付ファイル			

特記事項	<p>資格選択区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ■看護師資格必修 ■保健師資格必修 ■養護教諭二種免許必修 □看護師資格選択必修 □保健師資格選択必修 □養護教諭二種免許選択必修 <p>ディプロマポリシーとの関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ■広い視野と人を思いやる豊かな人間性をはぐくみ、人生の問題や課題に誠実に向き合う力 □高い倫理性と堅固な使命感をもって生き抜き、人に寄り添う力 □専門的な基礎知識と論理的思考にもとづいて看護実践する力 □チームワークを重んじ、創造的に多職種と連携・協働する力 □病院から地域・在宅へと療養の場が移るなかで、地域で暮らす人びとの健康と生活を支え、地域とともに歩む力 <p>アクティブ・ラーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あり ○なし <p>実務経験のある教員による授業科目の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担当している ●担当していない <p>実務経験を授業科目にどのように活かしているか</p> <p>科目等履修生ほか受入（受入可能人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受入可 ○受入否 <p>受入可能人数 5名程度</p>
------	---

授業の概要	相互理解と自己表現を核とする汎用的なコミュニケーション力「つながる力」の習得を目指す。他者の意見や背景にある意図を的確に理解し、自身の考えを相手の立場に配慮して明確に表現する力を養う。ディスカッションやグループワークを通して他者対話的に学びを深めながら、多様な視点から自身の考えを深め、互いを尊重し高め合う豊かな人間性を確立する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の文章や発言から、その意図を的確に理解するとともに、相手の表情や態度、背景にある多様な価値観を感受し、自身の知識や経験と関連付けて捉えることができる。 ・自身の意見や考えを論理的に構成し、読み手（聞き手）の立場や状況に応じた適切な語彙・表現を選択して伝えることができる。 ・他者との対話やフィードバックを通して自身の考えを柔軟に再構築し、互いを尊重し高め合う態度をもつことができる。 					
授業計画	回	授業内容	授業方法	自己学修課題(予習・復習)	取組時間	担当者
	1	オリエンテーション 「つながる」ための「言葉」	講義・演習	自己紹介文の作成		土居
	2	文章理解の基礎（1） 読み取り方のポイント	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト要約の作成		土居
	3	文章理解の基礎（2） 知識・経験との関連づけ	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト知識・経験との関連付けの作成		土居
	4	文章理解の基礎（3） 課題の評価・振り返り	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テストライティング・シートの作成		土居
	5	意見文を書く（1） 知識・経験との関連付け	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト知識・経験との関連付けの作成		土居
	6	意見文を書く（2） 論理的に表現する	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト意見文の作成		土居

	7	意見文を書く(3) 課題の評価・振り返り	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト 意見文の修正		土居
	8	CHA3プログラム(中学生・地域の方との対話) 研修	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト 研修振り返り		土居
	9	CHA3プログラム(中学生・地域の方との対話) 実践	講義・演習	実践振り返り		土居
	10	対話的表現(1) 自身の意見を明確にする	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト ライティング・シートの作成		土居
	11	対話的表現(2) 他者の視点を取り入れた意見を構成する	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト 小論文の作成		土居
	12	対話的表現(3) 課題の評価・振り返り	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト 小論文の修正		土居
	13	【学外授業】美術館対話鑑賞 学外授業	講義・演習	対話鑑賞について調べる		土居
	14	【学外授業】美術館対話鑑賞 課題の抽出	講義・演習	対話鑑賞振り返りと課題の抽出		土居
	15	まとめ 自身の「つながる力」	講義・演習	【予習・復習】日本語力小テスト 振り返りレポート作成		土居
先行履修科目	スタディスキルを履修していることが望ましい					
テキスト	テキストは特に指定せず、ハンドアウトを配付する。					
参考文献	山本真吾編『敬語を上手に使いこなすための 10章』(朝倉書店)					
評価方法	小テスト30%、提出物70%					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	提出物に関しては、クラス全体でシェアし、コメントをしたうえでフィードバックする。					
備考	対話を重視した演習を展開します。クラス全体で論理的思考力を高め、互いに良い点を発見しながら、それぞれの表現スタイルを身につけていきましょう。 市内中学校に Outreach して中学生や地域の方と対話するトークプログラム、県立美術館での対話鑑賞を学外授業として実施予定です。					

講義科目名称： 人間学

ナンバリング： N-13-01-D

英文科目名称： Anthropology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	選択
担当教員			
荒井優 (marai.ts@tcn.ac.jp)			
授業形態	授業時間数	授業時間外学習時間数	科目区分
講義	15時間	30時間	基礎分野【人文科学】
添付ファイル			

特記事項	<p>資格選択区分</p> <p><input type="checkbox"/> 看護師資格必修 <input type="checkbox"/> 保健師資格必修 <input type="checkbox"/> 養護教諭二種免許必修 <input type="checkbox"/> 看護師資格選択必修 <input type="checkbox"/> 保健師資格選択必修 <input type="checkbox"/> 養護教諭二種免許選択必修</p> <p>ディプロマポリシーとの関連性</p> <p><input type="checkbox"/> 広い視野と人を思いやる豊かな人間性をはぐくみ、人生の問題や課題に誠実に向き合う力 <input checked="" type="checkbox"/> 高い倫理性と堅固な使命感をもって生き抜き、人に寄り添う力 <input type="checkbox"/> 専門的な基礎知識と論理的思考にもとづいて看護実践する力 <input type="checkbox"/> チームワークを重んじ、創造的に多職種と連携・協働する力 <input type="checkbox"/> 病院から地域・在宅へと療養の場が移るなかで、地域で暮らす人びとの健康と生活を支え、地域とともに歩む力</p> <p>アクティブ・ラーニング</p> <p><input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし</p> <p>実務経験のある教員による授業科目の配置</p> <p><input type="radio"/> 担当している <input checked="" type="radio"/> 担当していない</p> <p>実務経験を授業科目にどのように活かしているか</p> <p>科目等履修生ほか受入（受入可能人数）</p> <p><input checked="" type="radio"/> 受入可 <input type="radio"/> 受入否</p> <p>受入可能人数 若干名</p>
------	--

授業の概要	「人間とは何か」、「人間はどう生きるべきか」という問いは、古来から今日にいたる永遠のテーマである。授業では、「人間とは何か」「人生の意味とは何か」「死にどう向き合うか」等について、自分の人生を生きるための手がかりとなるような人間観・人生観・価値観を取りあげる。看護職としての自己づくりのヒントにしてほしい。
-------	---

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で紹介する思想家の人間観を理解し、自分の人間観を比較し再確認する。 ・ 自分自身と自分の人生に向き合い、これからの自己づくりのヒントを得る。 ・ 病気や障がい・不幸・災難にみまわれた人生は生きる意味を失うのか、自分なりの考えを整理する。
------	--

授業計画	回	授業内容	授業方法	自己学修課題(予習・復習)	取組時間	担当者
	1	「人間学」についてガイダンス	講義	「人間学」について理解し、自分自身の人生観・価値観について振り返ってみる。	2時間	荒井
	2	ユングの深層心理(1)意識と無意識(2)ペルソナ	講義	「私」とは何か、「無意識」とは何か、自分なりに考えてみる。	4時間	荒井
	3	ユングの深層心理(3)アニマ・アニムス(恋愛論)(4)自己	講義	自分に向き合いながら、授業内容を理解し、自分の経験をレポートにまとめる。	4時間	荒井
	4	キューブラー=ロスの「死ぬ瞬間」～死に逝く人の心理的プロセス(1)	講義	死に直面した時の人の心理について、またキューブラー=ロスについて調べておく。	4時間	荒井
	5	キューブラー=ロスの「死ぬ瞬間」～死に逝く人の心理的プロセス(2)	講義	「寄り添い」とは何かに注目して、授業内容を理解し、自分の経験をレポートにまとめる。	4時間	荒井

	6	看護における「寄り添い」について	講義	「寄り添い」とはどのような行為か、具体的実践を考える。それによって自分がどう変わるのか？	4時間	荒井
	7	フランクルの「人生の意味」(1)人生の意味(2)2つの座標	講義	フランクルの生涯について調べておいた上で授業に臨む。	4時間	荒井
	8	フランクルの「人生の意味」(3)コペルニクス的転回(4)人生の3つの価値(5)超意味	講義	自分の価値観・人生観に向き合いながら、授業内容を理解し、自分の経験をレポートにまとめる。	4時間	荒井
先行履修科目						
テキスト	授業で使用するスライドは、プリント配布する。					
参考文献	参考文献は授業中に適宜紹介する。					
評価方法	レポート80%、提出物20%を総合的に評価する。					
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	提出されたレポートは抜粋集を配布し理解を深める。またレポート・提出物のなかから授業理解のために参考となる事例を授業中に紹介し（プライバシーに十分に配慮する）、授業内容のより深い理解に役立てる。					
備考	人生の不幸や人生の苦しみは、自分自身もつ価値観や人生観に由来していることが多い。価値観が変わることによって自分自身が変わり、自分の人生も変わる。哲学者や心理学者、精神医学者などの人間観を通して、まずは自分自身に向き合おう。					